

から急激にスローにして、スローでゆっくり回転が落ちだんだん回転が下がる場合は濃い状態です。急激にスローにした場合、いったん回転が下がり(止まってしまう場合もある)、しばらくすると上がる場合はスローが薄い状態です。

地上で長くスローが続く様になったら、機体を持ち上げていろんな向きに機体を回転させ、しばらく保持してみてください。どの向きに保持してもスローがかわらずに続くのであれば完璧です。これでスローからハイまで調子よくYSエンジンは回るはず。プロペラなどでけがをしないように慎重に調整して下さい。

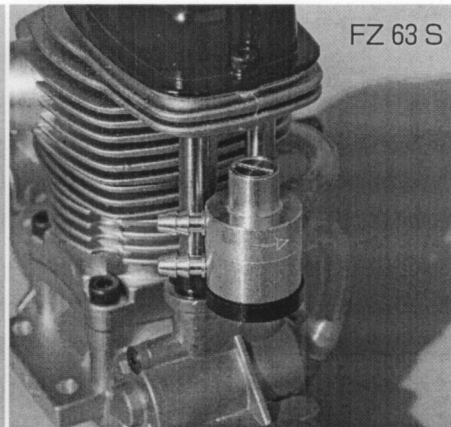
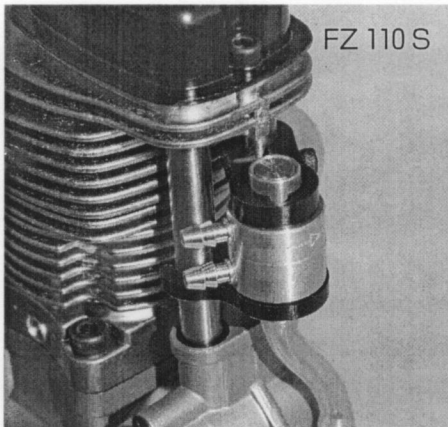
レギュレーターとは何なのか

レギュレーター自体はよく使われている構造です。圧力を一定に保つ機器です。YSエンジンに使われているものは少し違います。模型のエンジンは飛んでいるときは回転も変化するし負荷も変わります。どんなキャブの開き方をしても混合気が保たれてなくてははいけません。そのためにレギュレーターが活躍します。クランクケースの圧力をクランクタンクにかけて燃料を圧送しますが、その回転でのクランクケースの圧力を信号にしてレギュレーターを作用させて、必要な分の燃料をキャブに送っています。

レギュレーターの調整ねじは、調整はいらないはず。工場出荷時に調整済みです。

やむを得ず調整する場合、特に63S、110SなどSタイプのレギュレ

●Sタイプのレギュレーター



ーターは調整が敏感にしてあるので、5°単位くらいで廻して調整して下さい。調整は、右回しに絞めこむと出力圧が下がり全体に薄くなります。左回しでは圧が上がり、全体に濃くなります。ただし、限界を超えるとレギュレーターの弁が開きっぱなしになり、キャブから燃料があふれてきます。そうなったら燃料が止まる位置まで絞めてください。

トラブル Q&A

続いて、よくあるトラブルの体系的なものを紹介しましょう。

Q. 音を静かにしたい。パワーを抑えたいので、ニードルでピーク回転よりも下げて飛ばすとエンストする。

A. YS 4サイクルエンジンはクランクケースに混合気を取り入れ、圧縮し過吸して燃焼室に入れているので、余分に燃料が入るとどこかの部分に“生の燃料”がたまり、姿勢がかわったときや、スローにしたときに溜まった生の燃料が燃焼室に入ってプラグの火を消してしまいます。ニードルは適正に絞り(少しだけ甘め)、プロペラなどで調整して下さい。キャブが全開にならないように調整して飛ばすのもいい結果が得られます。

Q. 長くスローで降下すると止まる

A. まず、プラグを疑ってください。新品のプラグに交換して試して

